

<学校課題>

- ・自立 進んで学び、努力する子
- ・共生 友だちを大切にできる子
- ・創拓 チャレンジする子
- ① 相生小の良さ（自尊感情をもつ子）の継続発展
- ☆② わかり・できる喜びを持たせ、学ぶ喜びを味わわせる授業
- ☆③ 望ましい学習集団の育成（活力と規律）
- ④ 自主自立と人との絆（人権尊重）を重点に置いた教育活動
- ⑤ 児童の安全・安心の確保
- ⑥ 地域講師・外部講師の協力・PTAや幼保小中の連携強化

<市の方針と重点>（抜粋）

- 凌霜の心で拓く明日の郡上市
- 自立・共生・創拓の教育
- 「なにくそ」「おかげさま」
- ・夢に向けて生活をつくりだす
- ・目標の実現、見直し、困難を乗り越える、ひたむきな努力
- ・命と人権の尊重
- ・感謝の心、人の役に立つ

<学校の教育目標> 豊かな心でやりぬく子 思いやる子（ニコニコ） 考える子（キラキラ） 強い子（グングン）

学校経営の方針 「命」「ともだち」「チャレンジ」を大切にできる学校
 目標をもち、進んでチャレンジする子（向上心・克己心）
 ともだちの良さを認め、支え合い高め合う子 を育てる学校（生命と人権・思いやりの心）

めざす教育活動 合い言葉「ニコ」「キラ」「ガン」 児童会三つの宝「あいさつ・歌声・掃除」

思いやる子（ニコニコ） 豊かな心	考える子（キラキラ） 確かな学力	強い子（グングン） 強い心と体
◇命を尊重し、人とともに生きる喜びを味わわせる教育活動 ・ともにめざす目標の共有 ・心が通う挨拶 ・相手を大切にできる言葉、マナー ・心が響き合う歌声 ・絆を深め、感謝の心を培う学級活動・集会行事	◇わかる・できる喜び、学ぶ喜びを味わわせる授業 ・めあてや課題をもつ ・教科の本質に立つ学び方の習得 ・具体的な操作を伴う授業 ・自ら考え、話す、書く、聴く。 ・朝活動の充実（読書・自学） ・読書、家庭学習の習慣化	◇困難なことを乗り越え、進んでチャレンジする喜びを味わわせる教育活動 ・めざすめあてをもつ ・自分（たち）でできたという喜びを味わわせる教育活動 ・働くこととの良さを味わわせる掃除、学級活動、児童会活動 ・進んで健康づくりや体力づくりに取り組む教育活動
<きずなづくり> ◇誰もが大切にされる教育活動 ・命と人の絆に帰着させる意味指導の充実 ・一人一人の良さを認め価値づける教育活動の重視 ・絆を深める日常活動、集会行事 ・全校態勢で、児童理解し、指導にあたる生徒指導 ・家庭との連絡・相談の充実 ・豊かな自然・文化、温かい人との関わりを通して、地域の良さを味わわせ絆を深める教育活動	<まなびづくり> ◇教科の本質に立ち力がつく授業 ・課題をもたせる、見直しをもたせる、自分で取り組ませる、学び合わせる、ふりかえらせる。 ・良いモデル（具体物、手本）を示し、実感を伴った学びとする。 ◇授業・家庭学習・朝活動の関連強化 ・授業-家庭学習-朝活動を効果的に関連させ、進んで学ぶ意欲と態度を育て、確かな力を身に付けさせる。	<チャレンジづくり> ◇たくましさ身に付ける教育活動 ・モデルを示しイメージさせ、教え、まかせ、考えさせ、ほめ、自分（たち）でできた喜びを味わわせる。 ・「イヤだと思ふこと」や「困難な状況」を乗り越えた事実を認め価値づける。 ・学級活動、児童会活動、縦割り活動で育てたいリーダーシップ、フォロアーズを年間を通して、共通理解し身に付けさせる。

保護者・地域と連携して 子どもたちをともに守り育てる

幼保・小・中が連携して 子どもたちをともに守り育てる

誠意と情熱をもち、専門性・指導力を磨く職員

- ◎子どもを育てることにかかる教育愛が基盤
～教師の3のKEN「研修・健康・謙虚」～
- ☆自らの姿で指導する職員（率先垂範・師弟同行）
笑顔いっぱい・元気いっぱいの姿で接する
- ☆チーム（組織）で動く職員「チームAIOI」
全職員が全校児童の担任、共通理解と共通行動
- ☆ともに補完しつつ学び合い、自己を磨く職員
一社会人として、専門職としての自己を磨く
- ☆教育活動の意味や本質を見極め実践する職員
「児童にとってどうなのか」「何のための活動か」
「児童の振るまい・現象に表れる根源は何か」
- ☆教育的な意味をもった環境づくりに努める職員
安全（命）、美しさ（美）
夢や目標（志向性）、
モデル（見直し・レベルアップ）
学びよさの自覚（効力感、有用感）
集団性（絆の深まり）

保護者や地域とともに、子どもを守り育てる学校

- ☆保護者にとっても、学校にとっても、地域にとっても「子どもは、宝・明日への希望」であるというスタンスが基盤
- 保護者とともに育てる教育相談の充実
- 学校の願いや子どもの姿の情報発信
- 教育活動の積極的な公開
・ファミリー参観、運動会、学習発表会、6年生を送る会、参観授業、持久走大会など
- 地域行事への積極的な参加
職員、児童ともに地域行事へ参加・協力・貢献し、地域の一員としての意識の高揚
- 地域による学校支援体制の充実
・地域講師、ボランティアの協力依頼、登下校・校外活動における児童への安全支援、校区安全マップづくり
- 幼保小中の交流・共通実践を通じた連携強化
・9ヶ年前後+αを見通した指導の確立

P（計画）→D（実践）→C（評価）→A（改善）のサイクルを大切に「レベルアップ」を図る